

AMDA-International Bangkok Business Meeting報告

11月22日より25日まで3日間にわたりバンコックでアジア医師連絡協議会の執行部会を開催しました。この会議参加国はアジア医師連絡協議会加盟国13カ国中の9カ国です。日本／韓国／台湾／香港／フィリピン／タイ／バングラデッシュ／インド／ネパールです。欠席はインドネシア／シンガポール／マレーシア／スリランカの4カ国です。

決定事項は下記のごとくです。

- 1) アジア多国籍医師団創設
- 2) International Health Service
- 3) Mobile Clinic
- 4) パキスタン支部の設立
- 5) AMDA International 創立10周年記念会議1993年台湾開催

平成5年5月にアジア多国籍医師団創設を宣言する形で各国ともに準備をすすめていくことになりました。アジア多国籍医師団は私達の組織でのみ可能なプロジェクトで必ずや日本の国際貢献の一環を担うことができるものと信じています。Mobile Clinicは輸送力確保困難な地域に4輪駆動車を配して地域医療に貢献するとともに多国籍医師団活同時にも使用しようという考えです。International Health Serviceはアジア多国籍医師団ネットワークを使用した収益事業です。

それと共にイスラム圏への影響力と医師団派遣を可能にするために平成4年3月にAMDA Medical Missionをパキスタンに派遣してパキスタン支部設立を予定しています。カラチとカイロはイスラム圏における文化の中心です。

次に、バンコックの工業団地での病院プロジェクトの件について報告いたします。AMDA-Thai 3名とバンコック市当局4名との間で7人委員会がつくられ協議を続けています。チャムロンバンコック市長ともこの件で面会しました。積極支援を約束してくれました。この直後にバンコック市当局の4名の方々にも表敬訪問をしておきました。

なお、チャムロン市長から岡山県知事に東北タイの農業指導者の技術指導依頼がありました。東北タイ農民のバンコック流入を防ぐためには農業の改善が必要との判断です。帰国後岡山県庁の担当者と話し合い、AMDA-Japanとして積極的に受け入れることにしました。主として有機農業と農協について視察研修してもらいます。時期は平成4年7月頃になりそうです。

AMDA 創立10周年記念国際会議は1993年台湾開催に決定しました。



バンコック市長訪問
前列左より
Dr. Nipit
Dr. 菅波
チャムロンバンコック市長